

# 京城日報

刊夕日六廿

## ●獨逸にて歡迎せしす

米國通牒に對し新聞紙の攻撃  
獨逸は米國通牒に對し新聞紙の攻撃を  
攻撃し獨逸の如きは受諾の限りに非ずと言へり  
カフツク及びクルップの機關銃は右の通牒を以て英國の爲めに  
有利なる諸和を結ばん事を目的として英米兩國  
の目論める豫定の行動なりと云ふ也(倫敦電報)

## ●佛國は疑惑を以て迎ふ

巴里電報一佛國公衆はワイルソンの通牒を疑惑に  
不審を以て迎ふたり佛國の目的は米國の保障に  
不審を以て迎ふたり佛國の目的は米國の保障に  
不審を以て迎ふたり佛國の目的は米國の保障に

## ●聯合國回答明年か

聯合國の回答に對し米國は明年に於ては  
聯合國の回答に對し米國は明年に於ては  
聯合國の回答に對し米國は明年に於ては

## ●佛國陸相の新任

佛國陸軍省に於ては新任の陸相に  
佛國陸軍省に於ては新任の陸相に  
佛國陸軍省に於ては新任の陸相に

## ●エラツシユ奪還の價值

エラツシユの奪還に對し英國の軍費は  
エラツシユの奪還に對し英國の軍費は  
エラツシユの奪還に對し英國の軍費は

## ●鄭家屯事件交渉

鄭家屯事件に對し米國は交渉を  
鄭家屯事件に對し米國は交渉を  
鄭家屯事件に對し米國は交渉を

## ●五國財團變更協議

五國財團の變更に對し米國は協議を  
五國財團の變更に對し米國は協議を  
五國財團の變更に對し米國は協議を

## ●露行小包停止

露行小包の停止に對し米國は停止を  
露行小包の停止に對し米國は停止を  
露行小包の停止に對し米國は停止を

## ●莫小禁輪解除

莫小禁輪の解除に對し米國は解除を  
莫小禁輪の解除に對し米國は解除を  
莫小禁輪の解除に對し米國は解除を

## ●開會當日黨別

開會當日の黨別に對し米國は黨別に  
開會當日の黨別に對し米國は黨別に  
開會當日の黨別に對し米國は黨別に

## ●山縣元帥入京

山縣元帥は入京に對し米國は入京に  
山縣元帥は入京に對し米國は入京に  
山縣元帥は入京に對し米國は入京に

## ●實業家招待

實業家の招待に對し米國は招待を  
實業家の招待に對し米國は招待を  
實業家の招待に對し米國は招待を

## ●終業と拜賀式

終業と拜賀式に對し米國は終業と  
終業と拜賀式に對し米國は終業と  
終業と拜賀式に對し米國は終業と

## ●歲晚市況

歲晚市況に對し米國は市況に  
歲晚市況に對し米國は市況に  
歲晚市況に對し米國は市況に

## ●獨探の所爲か

獨探の所爲かに對し米國は獨探の  
獨探の所爲かに對し米國は獨探の  
獨探の所爲かに對し米國は獨探の

## ●間島鮮人の改善

間島鮮人の改善に對し米國は改善を  
間島鮮人の改善に對し米國は改善を  
間島鮮人の改善に對し米國は改善を

## ●人氣昂れる

人氣の昂るに對し米國は人氣の  
人氣の昂るに對し米國は人氣の  
人氣の昂るに對し米國は人氣の

## ●大邸と補助貨

大邸と補助貨に對し米國は大邸と  
大邸と補助貨に對し米國は大邸と  
大邸と補助貨に對し米國は大邸と

## ●立花中將動靜

立花中將の動靜に對し米國は動靜に  
立花中將の動靜に對し米國は動靜に  
立花中將の動靜に對し米國は動靜に

## ●外事課長張宴

外事課長の張宴に對し米國は張宴に  
外事課長の張宴に對し米國は張宴に  
外事課長の張宴に對し米國は張宴に

## ●井内氏出發

井内氏の出發に對し米國は出發に  
井内氏の出發に對し米國は出發に  
井内氏の出發に對し米國は出發に

## ●大連の滞貨量

大連の滞貨量に對し米國は滞貨量に  
大連の滞貨量に對し米國は滞貨量に  
大連の滞貨量に對し米國は滞貨量に

## ●阿片密輸檢舉

阿片密輸の檢舉に對し米國は檢舉に  
阿片密輸の檢舉に對し米國は檢舉に  
阿片密輸の檢舉に對し米國は檢舉に

## ●今村囑託者

今村囑託者に對し米國は今村囑託者  
今村囑託者に對し米國は今村囑託者  
今村囑託者に對し米國は今村囑託者

## ●露領酒精密輸

露領酒精の密輸に對し米國は密輸に  
露領酒精の密輸に對し米國は密輸に  
露領酒精の密輸に對し米國は密輸に

## ●熱田丸歸著期

熱田丸の歸著期に對し米國は歸著期  
熱田丸の歸著期に對し米國は歸著期  
熱田丸の歸著期に對し米國は歸著期

## ●州清

州清に對し米國は州清に  
州清に對し米國は州清に  
州清に對し米國は州清に

## ●大邸と補助貨

大邸と補助貨に對し米國は大邸と  
大邸と補助貨に對し米國は大邸と  
大邸と補助貨に對し米國は大邸と

## ●立花中將動靜

立花中將の動靜に對し米國は動靜に  
立花中將の動靜に對し米國は動靜に  
立花中將の動靜に對し米國は動靜に

## ●外事課長張宴

外事課長の張宴に對し米國は張宴に  
外事課長の張宴に對し米國は張宴に  
外事課長の張宴に對し米國は張宴に

## ●井内氏出發

井内氏の出發に對し米國は出發に  
井内氏の出發に對し米國は出發に  
井内氏の出發に對し米國は出發に

## ●大連の滞貨量

大連の滞貨量に對し米國は滞貨量に  
大連の滞貨量に對し米國は滞貨量に  
大連の滞貨量に對し米國は滞貨量に

## ●阿片密輸檢舉

阿片密輸の檢舉に對し米國は檢舉に  
阿片密輸の檢舉に對し米國は檢舉に  
阿片密輸の檢舉に對し米國は檢舉に

## ●熱田丸歸著期

熱田丸の歸著期に對し米國は歸著期  
熱田丸の歸著期に對し米國は歸著期  
熱田丸の歸著期に對し米國は歸著期

## ●州清

州清に對し米國は州清に  
州清に對し米國は州清に  
州清に對し米國は州清に

## ●大邸と補助貨

大邸と補助貨に對し米國は大邸と  
大邸と補助貨に對し米國は大邸と  
大邸と補助貨に對し米國は大邸と

## ●立花中將動靜

立花中將の動靜に對し米國は動靜に  
立花中將の動靜に對し米國は動靜に  
立花中將の動靜に對し米國は動靜に

## ●外事課長張宴

外事課長の張宴に對し米國は張宴に  
外事課長の張宴に對し米國は張宴に  
外事課長の張宴に對し米國は張宴に

## ●井内氏出發

井内氏の出發に對し米國は出發に  
井内氏の出發に對し米國は出發に  
井内氏の出發に對し米國は出發に

## ●大連の滞貨量

大連の滞貨量に對し米國は滞貨量に  
大連の滞貨量に對し米國は滞貨量に  
大連の滞貨量に對し米國は滞貨量に

## ●阿片密輸檢舉

阿片密輸の檢舉に對し米國は檢舉に  
阿片密輸の檢舉に對し米國は檢舉に  
阿片密輸の檢舉に對し米國は檢舉に

## ●熱田丸歸著期

熱田丸の歸著期に對し米國は歸著期  
熱田丸の歸著期に對し米國は歸著期  
熱田丸の歸著期に對し米國は歸著期

## ●州清

州清に對し米國は州清に  
州清に對し米國は州清に  
州清に對し米國は州清に

## ●大邸と補助貨

大邸と補助貨に對し米國は大邸と  
大邸と補助貨に對し米國は大邸と  
大邸と補助貨に對し米國は大邸と

## ●立花中將動靜

立花中將の動靜に對し米國は動靜に  
立花中將の動靜に對し米國は動靜に  
立花中將の動靜に對し米國は動靜に

## ●外事課長張宴

外事課長の張宴に對し米國は張宴に  
外事課長の張宴に對し米國は張宴に  
外事課長の張宴に對し米國は張宴に

## ●井内氏出發

井内氏の出發に對し米國は出發に  
井内氏の出發に對し米國は出發に  
井内氏の出發に對し米國は出發に

## ●大連の滞貨量

大連の滞貨量に對し米國は滞貨量に  
大連の滞貨量に對し米國は滞貨量に  
大連の滞貨量に對し米國は滞貨量に

## ●阿片密輸檢舉

阿片密輸の檢舉に對し米國は檢舉に  
阿片密輸の檢舉に對し米國は檢舉に  
阿片密輸の檢舉に對し米國は檢舉に

### 朝鮮總督府許可

大連の滞貨量  
阿片密輸檢舉  
立花中將動靜  
外事課長張宴  
井内氏出發  
熱田丸歸著期  
州清  
大邸と補助貨

### 御進物用

三色羊羹  
葡萄餡  
刺題新年菓  
福引券進呈

### 移轉廣告

本院左記に移轉仕候  
野田齒科分院  
七井山町三丁目四番地  
井上謙吉商店

### 人參直取大販賣所

人參直取大販賣所  
支店 支店 支店  
支店 支店 支店  
支店 支店 支店





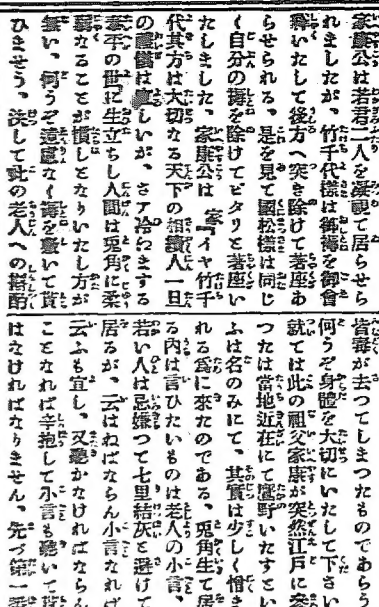






第十七席

田邊南龍口演



辨いたして取らせるが、以來は意を附け茶座いたすも同席はならんぞ。  
コレ國枝、泣を叱るのには無い。是は附人の本多上野介が爲附が惡いから斯様なことにもある。是からは將軍家へも少し家康が小言を云はなればならん。秀忠公意の中に云はれ方へお鉢が選つて来たに差附向てま控えとるぞ。秀忠今家康が云ふまでも無きことなが何事も目に餘は厭な小言も云はなければならん。俺は小言を云ふは嫌いだこばかりで

は下の者が上を却つて侮蔑いたす云ふべき時はきつぱり云つて聞かぬければならん。此の上野介知家には隙しく戒めて置くが宜しい、小を育てるには左様なことは叶ん遠慮なく懇諭を放つて然るべし又の上野介知家は將軍家のお指圖が分に行願らんと遂には何をいふか知らんから左様お心を附けられて「しからう」を將軍家へ對して小言云ふものゝ意の中では然うでない以上野介に叛逆の志があるといふ此時に見て取つたのである。

[illegible]

國民新聞創刊廿五年記念出版

# 蘇峰文選

上版紙 千五百頁 定價金三圓五十錢  
一萬都限時 贈價金三十圓  
文章經國文以學生之天職とする  
文筆大正時代の傑作を精選する  
治國民必讀の教科書としての共に  
樹食民議の趣味の養成所  
發行所 東京民友社  
東京本町四丁目  
支店 東京市丸の内區  
賣捌所 京城市報代理店  
電話 〇六番 發行者京京三〇〇〇

寫眞出版 最影  
寫眞編輯 亞細亞版  
速と印刷切な  
京城市報社 寫眞製版

櫻井町 大正館  
電話八七三

[illegible][illegible]

**古賀病院**

佐賀縣三策井部志里村  
結核專門（昭和四年）  
醫學博士 古賀玄三郎 院長

○  
きまつたりー  
きまつたりー  
御座る用にも  
お正月のお仕度にも  
實用で高人氣の  
**秩父銘仙!!**  
さびでございませう  
牛かくし賣出し  
ふゆぞウ  
秀。酒々  
電話八九九番

香

町田野國總下  
造釀門衛右郎七木茂  
店約特  
目丁一町治明  
店商野牧

品に長  
官内金銀上の光榮を有し、衛生商に於て名譽金牌を受賞し到る處の信用ある、小間物店雜貨店にて一掃なく買れる美人袖

歳の暮  
年の始

斯く美しと清らかに  
斯く賑しく幸あれと

贈りませや

森永の菓子

御進物用 大小二種

ブルクキヤメル

スポンジメキスト

御進物用 一箱入り五個入り

御進物用 大小二種

森永ゼリピンズ

味噌の  
横網  
はまの  
水みそ

(定価 金二十錢 金五十錢)

# 花の季四園御

白粉を美しく附けるには、常に土臺の地肌を整へて置く事が必要です。化粧水御園四季の花は此點に別段の効能があります、即ち洗面後入浴後に用ひて、皮膚を柔軟に肌理を整へ、色艶を麗しく、肌荒れ一切を防ぐに無類の化粧料です

元 寶 發 舖 本  
店 商 屋 見 丸 園 蝶 胡 東 伊



京城日報

併ながら戦争が一部驚  
を興ふるとは、自ら限り  
に、戦争の長引くことが  
般の経済界に有利有益なりとは認

▽ 山江里鑛山 鑛業の現況 (五)

を収め得る期間も亦自ら定まれ  
あり、一定の期間を過ぎては、其  
の間に於けるのみならず、他の  
異なる職業を生ずることなきを保  
ざるなり。今日の交戦者中、實力  
も強大なるものを英吉利と爲す。

曲江里金鑛は忠清北道槐山郡會昌面溝溝面にあり鑛主人は朝鮮金鑛株式會社にして、三月三十日開鑛し、前一年の鑛產額は金三十二貫四百六十四匁、此價格は萬一千零五十九圓八十八錢、鑛自四十三噸、四一世、賣格二萬二千三百九十三圓零一錢、金、

米 吉手を開き、其の夕に其地を占め、  
全島の海上權を有す。其資本の豊  
其製造能力の旺盛なるべからずと  
す。而して猶ほ且薩利低當附の公  
を米國に發行し、我日本に就て六  
利一償を借るの必要あり。其の  
白鐵線に敷設すべき軌條を得る能

計金十萬三千四百五十二圓八十九錢  
なりとす

△採鐵及製鍊 採鐵は事業上の都合に依り大正四年七月以降六月間休止したり大正五年一月以降六月間休止したりとす

進講果して平和來

すして、加勢佐鐵道一千哩の軌跡を取り外して、之を輸送するといふ如き始末なり。其兌換制度の前途就ても、多少懸念するものなきに非らず。故に戦争を長引かすを以て、經濟界の利益なりと爲すも亦短見を免かれざるなり。然れども單

英國に於ては、氣満ちたる其の内閣の方針は、戦争に突然講和を提議せられた。而して英國の執るべき態度を、シ氏は十九日下院に於て此

し 貴し、れ 外 部

経済上の利害得失を以てのみ和戦  
決する能はず、聯合國は其の限戰  
初の目的を遂ぐる爲めには、如何  
の程度まで犠牲を拂ふべきや、償  
に之を視ることを要すべし。

大正の青年と帝

國の前金を賣ひ  
佛蘭西の首相ブリアン氏が佛國上院  
に同じ問題を論じた日であつて、同  
じ十九日に我が日本帝國政府は米  
大使ガスリー氏を通じて獨逸の請  
を接したのである。

近時最も憂ふべきは、國民の一  
 に陸海軍を増強する念慮なり。陸  
 軍とは如何、自家の陸軍なり。家  
 艦なくんば劫掠相繼で入るべし。  
 陸海軍なくんば、何に困つて外

(三)

十二月十一日

大谷光瑞

に くれ 業 は に  
を 娘 が ん や。 是 を 憎 む 者 陸 奥 邊 後 津  
り。 其 多 く は 云 ふ 陸 奥 各 藩 開 闢 あ る  
威 風 を 逞 に す。 諸 國 若 事 業 の  
あ れ ば、 宜 く 之 を 懲 ら せ 可 なり、  
之 陸 奥 軍 に 對 せ ば さ ん や。 軍 に  
あ る は、 既 に 色 あ る が 如 し。 赤 色  
嫌 は、 白 璧 と な さ ば 可 なり。 赤

終なるもの今日遂なるなし。我朝期  
 諸國皆く、實の軍國主義破砕せむ  
 るべからちと。爾の軍國主義を破砕  
 せんとせば、爾以上の軍國主義とさ  
 ざれば不可なり。今の世は義隆  
 上代に非ず、三年干戈露を執て、  
 苗を振する如きは能はず。故に大

を好まざるが故に障壁を除かんと  
するは、其理の存する所を知らず。  
は云ふ、取漸漸く大なれば、女  
害す。之を反せば文漸漸く大な  
ば、女を害す。事隔ち非なり。  
に害あり、往あり、決して踰越を  
さす。是れ壁の色を嫌ひて、壁を

の起るや、舉國武を練り、以て是  
當らんとす。是豈に過て、繩を練り  
の類なり。然れども近時稍々數を改  
め、聯盟の諸國少し生色あり。且  
れ軍國主義に轉せし限にして、猶ほ  
勞働者の是に反し、私欲を擴張せんと  
する者少からず。故に獨を制す。

[illegible]

敗に在り、各聯合國は獨断に發すべき發達に  
國と互に相談する所なく期せずして同一の結  
論を下したり、此戰爭を一意に長引かぬべ  
しと欲するものは固より強あるも開戦の目的を  
達せずして此の戰爭中途に終絶せしめんと  
欲するものも亦斷じて非惡の言を發するを得

す。假令に愛護宰相の提議に應ずんが如何にして、吾人の目的は達せらるべきで、愛護宰相の提議は、且、自ら提議者と名する點の提議なきこと、愛護宰相の條件をわしとすこと、國家を以て主と爲し、提議の提議は、吾人から歸の帰納を持ちて、民を作り之に、人の頭なれと云ふものなり。 **平和を成**

件に即ち完全なる復讐十分の賠償を請求に  
對ては有効なる保證はなり。因茲に杜・イート  
マ・ホルワエヒ氏は所かる平和に於てべき  
法律に於けるを示すべき一文句ヲ使用せり  
氏に據ては多量多量の獨立國を材料と  
爲し、其邊境を自由と爲すべし。未だ日露  
戰に關する調和協議が起草されたり將に

國邊に問題なく自耳義人を國邊に侵襲せしつゝありし也、余は問はんとして、（主）義の義者なりと亦和條約を締結するの義者なり同一方式の下に之が義をせられざるをて、賠償を伴はざる平和の克復は絶対に不可能なり、（主）義の義者なりと亦和條約を締結するの義者なり同一方式の下に之が義をせられざるをて、

其人は使えて行へる處迄に斯く人々を誘ひ  
する數の峰に上りしき文句を以て決断せざる  
べしものなりや、聯合諸國は昔年西國國表  
の條約に據りて防禦せべく此際亦之を全  
加したるなり、故に此に因り將來に諸國の  
平和を保障するが如き處なきや、汝も完全な  
るを救ふべからず、古に曰く、屬

扁鵲見秦桓侯，立有間。扁鵲曰：「君有疾在腠理，不治將恐深。」桓侯曰：「寡人無病。」扁鵲出，桓侯曰：「醫之好治，不病以爲功。」居十日，扁鵲復見，曰：「君之病在肌膚，不治將益深。」桓侯不應。扁鵲出，桓侯又不悅。居十日，扁鵲復見，曰：「君之病在腸胃，

出桓侯又不悅。居十日，扁鵲望桓侯而逡巡。桓侯欲使人問之，扁鵲曰：「疾在腠理。」之所及肌膚、筋脈之所及也；其入骨髓，火齊之所及也；其在骨髓，不可治，無奈何也。今在骨髓，臣以無請也。居五日，

秦矣。桓侯遂死。良醫之治尸病也、  
 以之於腠理、此其小之於小者也。  
 天事之禍福、亦有勝理之地、故曰、  
 善人蚤從、事焉足以知、上は  
 無きに豫防す。中は病無きに當て  
 之を治す。下は病深きに及んで醫を  
 故に及ばず。

女は、保護を得るに上りて始め、家事を終結  
 せしめて、ジョージ氏は滔々數千言を  
 べたる後結語に於て「何人も平和に  
 愛さず、然れども其に厭じたるや名  
 あるべきものにして厭じて不名誉  
 あるものなる可らず」と叫んで居る。

同時に又其深甚の意義は明確に  
之を判斷了解することが出來  
英國民は首相の演説に對して頗  
満足の意を表して居る

は諸和議議に對して斯くの如く強  
の意見を宣明したのであるが、現  
の對する英國の態度は今日にし  
始めて決定したのでは無い、實に  
國が戦争に参加したる目的そのも  
が英國の執るべき態度を明確に指

一月倫敦市長の宴席に於て、前首  
アスクイス氏が爲したる演説の中  
、辭館にして意長く而して最も決  
定的に英國の繁榮を宣明して居  
るを、曰く「日耳曼が其機軸に  
したる有らゆる物、及び其以上  
の繁榮を遂げたるは、實に英の

の威嚇に對して有効に保護せらるるまで。歐洲小國の權利が侵犯せらるる基礎の上に確立せらるゝまでび普魯西の軍國的支配權が全然最の打撃を受けるまでは、輕々しは援けられなかつた吾

の劔は、斷じて鞘に納  
られぬのであらう」と。  
知る、琥珀の今日宣明せる所  
、恩威當初より琥珀の持したる  
針を同じく反覆して更に力説せる  
のであることを。而して昨年十二  
ロイド、ジョージ氏が軍需大臣と

[illegible]

切の利益を有し、今尙之を有しつゝある」と斷言したのであるが、其言葉は移して以て今日之を繰回すことを得るのである。要するに英國亦調和の提議に對しては強硬なる態度に在るを知るであらう。

冬來たる密のガラスに額をあて冷  
たき朝の空を見るかな  
一とすじの川のみ残したそがれの  
雪はつもりてはるかなるかな  
雪山 北斗座

大 陸 婦 人 界

**今年より實行した** 花井京誠、三共他内外、實業家、文藝家、學者、  
**半島貿易の鮮露貿易の研究** 新問題  
鮮露貿易の前途、余が實現した鮮露貿易人に対する、鮮露貿易と戦後の動向(中尾光吉)……  
全鮮鑛業家より全鮮操縦者より、鑛業に於ける郵政的文致、古蹟を  
近世植民の一大眼目、新渡戸博士、石原川上村田富田等四家の時事觀  
人間生活の新機運、姉崎博士、中年者の神經衰弱、博士  
雨か第三十八議會如何城大勢既  
風かに決す解散歴然否七久保一立憲の意義、兩黨の歸納、牛島  
牛島の實業家に此七大事を要望す、農商部長長  
實業家より各道長官へ、在文武官宮中席次二年齡  
五山工部省、市外年令、名姓初對面印象記……牧山  
戰事が今年中繼續する、實業家騷起の年安田善三郎已年人名  
戰定せし、然らば我、實業家猛省の年中野武豊年頭宣言  
國經濟界の影響如何、美濃部俊吉論、易馬  
**人間の志操** 大巻毅、高瀬梅吉論、主助  
各道長官より實業へ、七個條の希望、上  
柳北、本道開發の大眼目、此一事を要望す、李  
着任後最先に感じた一事、此點最も重大、(張太)  
**隈閣倒れ寺閣出現の真相** 玄波樓  
未來に生きる人、有友久彌、綺麗な女の話、胡蝶子  
滿洲の野より、村田俊彦、美人久龍物語、ベス生  
東拓改革私案、板橋芳松、美人久龍物語、ベス生  
**此の好景氣** 何に利導さず乎、(五大銀行  
銀行預金、公債券、未付銀、原料生産に努力せよ、西村第二)……八分目に  
店番地各朝鮮支海臺内地内

[illegible]











小林蹴月作 武内桂舟畫

ちやがの、然し、絹代、お前も多少  
物の道型を考へて見や不可ぞ。

A black and white illustration of a woman lying down, wearing a striped garment, with her eyes closed and a serene expression. The style is reminiscent of a woodcut or a high-contrast photograph. The woman's head is tilted back, and her hair is dark and voluminous. The background is light and textured.

●新開業の大塚製店　市内明治町二丁目  
舊路に近接中、大塚製店は先月上旬より  
開業した。同店陳列品は、完全なる倉庫型を  
採り、大抵の物品の存貯は勿論、販路の狭く  
且つ顧客品位に密着する旨とし、販路を極  
度縮める者が、刺銭が無くて電車（乗せ

なれば一般の知見が射し合ふの誤謬なり

## 新刊紹介

▲帝國大學雜誌(大塚實録) 著者岡田富雄  
の首下より年々脱出の勢あり 著者岡田富雄  
大和民族の特殊な愛を以て歐羅巴を嚮する所は本  
のペルシヤ民族の如きの限あり 而して日本  
の特殊文字と有るの妙にまで至りしが、茲臨時編  
纂の筆致と有るの妙に至りしが、茲臨時編

ないては因ると爭つて居た傍觀生  
▲人道の殆むの上へ吐いた喉は此寒  
さに限り付て不潔此上無得ぞか吐か  
せぬ様にする方法は無きか津鮮家

宮内省  
攝津義新  
吉本

[illegible]

と下町下男と云ふ名家の一人息子で、恰似文學的實光雄と云ふ青年と不可解な生活をして居る先達の俗父といふ題材、其共同に戀愛した氣分の探小説、木乃伊と小造と戀父と藝田家との間に翻ぜられた黒幕の組織をいひ、少除がれないが要するに従ふものを見れば、少な作である。一五十二號東京市本城駒込町野寺二〇天祥。

紅門病者の新編(山中三郎著) 著者二三頁、文庫式書局發行

酒  
に秀

最後勝利を獲得す

京城本第三丁目  
特約店 山本富之助商店

社告

當月の支拂は左の通り相定め申候也

十二月二十日 午前十時より  
午後四時迄

大坂町綱屋長五郎 其餘の諸般取柄の所あり

電話五七五番

十二月二十四日 午後四時まで 京城日報社

行國作新品

ミツワ石  
ミツワ椿  
ミツワ家  
肝油ドロッ  
御園化粧品  
庄品

藥油 驗發賣元



東京市日本橋區橋町四丁目  
藥劑 滋養品 石鹼 香粧品 小動物飼料  
**丸見屋商店**

電話號碼〇五三、販賣所金口座車主七〇番  
電話號碼二四八、二四九、二五〇番

香は人によりまして、嗜好を異にして居りますから、先づ三百番として六種の香を異にするものを發賣いたしました。更に過々種類を種々やうと云ふ計畫であります。香水は折角高價を拂つて求めても、その香が嗜好に合はない場合が多い。三百番香水は一壺毎に小便瓶の足本を配へてありますから、お好みに合ふものを召しになる便利があります。普通香水は器器の鑑賞を飾る爲に餘計に高價なものになる弊があるが、三百番香水は正味のみを目的として居りますから、自然價格も無類の低廉なものになつて居ります。

ムケツト (花の名)

ミモサ (花の名)

ブーケ (花たば)



ヴァキオレット  
（カレ）  
ロ—ズ  
（ハ）  
リ  
（リ）




**三百番香水**  
 さん びやく ばん かう すゐ  
 價 定  
 一均種各  
 小樽入 銀五十錢  
 中樽入 銀一圓五十錢  
 大樽入 銀一圓五十錢

且つ、髪の色黒く、髪を脱はし、毛髮を空氣で接觸することから、從つて空氣が毛髮に接觸する結果、漂白と云つて、毛髮の黒い色素が段々に減り、赤毛や白毛に早く成り易い處を除き、凝つたり臭氣を發する等のことも無く、何時も艶かしい潤滑色で、髪毛、折毛などの憂は決しないのである。

は製造法を改良して、治癒力に強力なる水蒸機を用ひ、少しも熱を加へずに搾出した新製純良な精油にて平素此ミツワ精油を使つてゐると毛髪に透込む力が強いから

**毛髪の發育を助け**

標新油

標新油

新土、日本、カリ等で處理して  
 一旦純粹の椿油と違はぬやうでも  
 其の性質は變つてゐるものが多い  
 である。


みつわ・つばきあぶら  
 ミツワ椿油


丸屋  
 丸屋

と謂ふと、純正な樟油は不変性油と云つて、流動の性質を失はず、滲込む力が強く、蟻敗する憂ひがなく、厭ふべき臭氣を發しないからである。

樟油にも不完全なものが多い

完全に樟油の特色を發揮するものは先づ無いと云つて宜い位で、或は非度く酸化して固たり、或は色を濁くする爲に白紋（種油）を交ふ。




 みつわ 椿油  
 毛髪には何故椿油が宜いかり  
 定價  
 小瓶入 定 價 金 二 十 錢  
 中 瓶 入 五 元 金 三 十 錢  
 大 瓶 入 一 十 元 金 五 十 錢  
 總 入 一 次 合 入 金 一 百 五 十 錢

熟した椿の實の皮膜を去り、冷壓法を以て搾取したる  
毛髪の衛生に適し、色艶を麗しくする、純良なる香油

○天眞丸 每月二、九、十四、廿一、廿六日 午後十時出帆 全陽丸 每日午前  
釜山港理立新町 太速回漕漕 江華島、獨島、熊川行 仁川發  
本航路各店

[illegible][illegible]

**日本郵船出帆**

大連行 奉天線  
三河丸 六月一日正午出帆

金泉織居自動車支部  
▲小形車運搬機付  
▲全乗客四人入

錦城丸	五月二日	元山登
昌城丸	五月八日	元山登
平増丸	五月九日	元山登
城北丸	五月十日	釜山發
益德丸	五月十一日	釜山發
鎮江丸	五月十二日	釜山發
陸陽丸	五月十三日	釜山發
漢江丸	五月十四日	釜山發

▲各往來市道最便  
▲船中設備更良  
▲釜山より大連行

金泉禮泉間自動車時間

全東京  
成海蘇羅  
九九九九  
九九九九

十二月十一日  
十二月十四日  
十二月十八日

釜山發

大塚農場自動車部

大邱出張所

電話 二七五

阿波共同電話式資信  
 本間四丁目電話七三番  
 仁川代理店 野口商會  
 春日電話四七番  
 元山代理店 田口酒部  
 重南電話二八八番  
 京城取次店 河村運送店

[illegible]

京城本支通 電話三〇〇番 京林日報社代理部

症瘧の防外患を通し  
トランス商會洋行本部

切符發賣所  
大坂商船會社  
內陸鐵道會社  
支店

仁川支店

上海、基隆、打狗、大連出發  
十一月十二日午後四時出發

基隆丸

注釋  
新船名有變更  
大坂發賣所  
大坂商船會社  
內陸鐵道會社  
支店

切符發賣所  
大坂商船會社  
內陸鐵道會社  
支店

▲山縣五十坪 村上隆吉氏著  
富の道しるべ 即巻十五號

東京城本町一丁目郵便局前 林有造

中村眼鏡店

電話 寄託千三四六番

○信濃州丸 十一月十六日午後二時出  
○河内州丸 十一月廿七日正午出船  
○大阪行 十二月八日正午出船  
○須磨行 十二月廿八日正午出船  
○津・油・瀧行(元山出帆)  
○津・油・瀧行(元山出帆)  
○安曇丸 十二月十四日午後二時出  
○安曇丸 十二月十四日午後二時出

**各縣醫院指定眼鏡製作**

サック類十錢以上一圓鏡製作  
各地方も同様に衛生の節は代金引替

石ノ川各種用各糧  
木ニクハ用各糧  
鐵鍋  
御膳上主玉  
三二  
六十六錢圓鏡  
三二  
六十六錢圓鏡

安東九十二月廿八號發行  
本郡釜山原服の仕長靴行  
信濃川九十一月十一日正午出帆  
信濃川九十一月十七日午後二時出  
群山釜山、松濱行  
福州九十一月十一日後二時出  
鎮守府大連行  
信濃川九十二月三日午後二時出

**米國製金張玉付** 丙二圓十錢 丁二圓十錢

銀線一圓三十錢以上三圓五十錢以上五圓七十錢以上五圓

赤銅無火二圓五十錢以上五圓

赤銅火二圓五十錢以上五圓

**甲三圓十錢 乙三圓十錢**

六金七分一圓十錢  
二十金二分八錢十錢  
二十金二分十錢

○外城海通運送船務公司開辦船務  
○神代丸 月六日午後四時出帆  
○大丸 月六日午後四時出帆  
○神代丸 月六日午後四時出帆  
○大丸 月六日午後四時出帆

**大阪商船出帆**

○外城海通運送船務公司開辦船務  
○神代丸 月六日午後四時出帆  
○大丸 月六日午後四時出帆  
○神代丸 月六日午後四時出帆  
○大丸 月六日午後四時出帆



## 眼鏡

九金細ツル 六圓五十錢  
 九金 每三分  
 十八金細ツル 八圓七十錢

○君考代九十二月廿八日

○有九十二月廿八日

群山木浦釜山下 開神阪行  
**尼崎汽船出帆**  
 午後四時出帆  
 午後四時出帆  
 午後四時出帆